



ぶいっしょ



尾道市PTA連合会
第19代会長
半田真悟

本年度、第19代会長に就任致しました半田真悟と申します。浅学非才の身ではありますが、尾道っ子の健全育成に誠心誠意、尽力する所存です。みなさまのご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年度は「第59回日本PTA全国研究大会ひろしま大会」におきまして、尾道では2分科会を担当し、日比崎中ブロック、瀬戸田・生口中ブロックの活躍により、大変大きな役割を果たしました。また、全体会では尾道から駆け付けた多くのスタッフのご協力のもと大成功に終わりましたこと、心より感謝申し上げます。

また、昨年3月11日、多くの犠牲者と深い心の傷を残した東日本大震災が発生しましたが、早いもので一年以上の時間が過ぎました。しかし、信じられないほどの被害状況から日本中で復興を願い、さまざまな人たちが支援し、今自分に出来ることを考え、力を合わせて一步一步前に進んでいます。

そして、困難な状況の中にあっても、子どもたちも復興を願い、力強く立ち向かい、笑顔を見せてきています。

私たち市P連も復興を願い、私たちの出来ることを考える中、昨年度に引き続き支援をしていく決意であります。

本年度は日本PTA全国協議会が進める「心のきずな61キャンペーン」に賛同し、震災により孤児・遺児となった子どもたちの就学支援をするため、書き損じはがきの収集を中心に支援活動をしてまいります。引き続き、ご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、本年度の活動目標として「笑顔で未来を」をスローガンに掲げさせて頂きました。これは、私たち保護者・教師が、子どもたちの笑顔あふれる尾道を目標にすることで、未来につながり、未来を創り、未来を幸せにすると思うからです。

子どもたちは目標に向かいながら、しんどい時、上手くいかない時、苦しい時もあります。そのような時、私たち大人が子どもを見守り、見つめ、そして生きる後姿を見せることで、子どもたちは安心して目標に立ち向かい、自分で考え、心強く成長し、そして目標を達成する力を持つのではないのでしょうか。目標を発見して力を発揮した子どもたちは、す

ばらしい笑顔を見せてくれると信じています。

そのための第一歩として、私たち大人が笑顔を大切に、子どもたちを支えるPTA活動を進めたいと思っております。

尾道を今以上に素晴らしい街にするために、幸せな子どもたちの未来のために、PTAとして共に笑顔あふれる未来を創造していきましょう。

退任のご挨拶



第18代会長
加藤千政

先日のご定例総会において、私の退任が承認され、新会長に半田真悟さんが就任されました。

3年間という長い間、無事に責務を全うできましたのも、副会長をはじめとする役員の方々と会員のみなさまの温かいご支援によるものと、深く感謝申し上げます。

思い起こせば、全速力で駆け抜けた3年間だったと思います。就任初年度には市P連創立60周年記念事業がありました。翌年には県P連理事として全国大会の準備に奔走し、昨年度は県P連会長という大役と共に、全国大会を成し遂げることが出来ま

した。

会員のみなさまには沢山のお願いを申し上げたにもかかわらず一致団結してご協力いただけたことは、その責を預かるものとして心強く、そして温かい人の心に触れる貴重な体験であったと感謝の念でいっぱいです。

思い出は多くて紙面には書ききれませんが、東日本大震災支援の文房具収集では部屋一杯の支援物資を届けていただき、休日返上で仕分け作業を手伝っていただきました。被災地の炊き出しに、片道18時間をかけて女川町まで同行いただきました。

そして何よりも、全国大会で二つの分科会を成功できたこと。全体会で大勢のスタッフと共に八千人を超える全国からのお客様をお迎えし、涙と共に歌った「ペリブ」の感動は決して忘れることはないでしょう。尽くせぬ思いを胸に抱き、私は卒業いたします。みなさま、本当にありがとうございました。



表敬訪問

去る6月4日、新年度の新しい市P連
正副会長と幼P連会長が、平谷市長、檀
上市議会議長、半田教育長を表敬訪問し
ました。

前任の加藤会長の功績を讃えられる
中、半田会長へ今後も変わらない市政
教育行政への協力、連携が求められま
した。また、特に市長からは、市P連は今
までどおり楽しく活動して欲しい。子
ども達をアジアの一員として活躍できるよ
うしっかり育てて欲しい。教育長からは、
市P連の取り組みを各単P(各学校での
PTA、育友会)活動につなげて欲しい。
新学習指導要領、小中学校の耐震化につ
いて、改めて説明したいとの話がありま
した。

半田会長から、「私たちは尾道市の未
来を担う子ども達の成長に責任をもつ保
護者の代表。今後も尾道市、市議会、教
育委員会からの積極的な協力をお願いし
たい。」と要望がされました。



中学校会長会

高田幸治

本年度中学校会長会長の
会長をさせていただきま
す美木中の高田幸治です。
本年度の活動として、
情報交換会と学校訪問を
計画しています。情報交換会は、各学期に一
度集まり意見交換させていただきま
す。



各PTAの困っている事、または他校で取
り組んでおられる成功事例を色々おしえてい
ただき、自分の学校に持ち帰り、改善のきつ
かけになれば幸いです。
次に学校訪問に関しては、24年度で一回実
施したいと考えています。特色ある学校の取
り組み、また学校と地域のパイプがしっかり
とれた事例など、新しい発見ができればと思
います。積極的な参加をお願いします。
また中学校の規模は結構ちがいますが、P
TAの取り組みとして共通の取り組みができ
ればと思います。情報交換会の意見を参考に、
共通の活動を実施してまいります。

最後に中学校会長会も、各単Pのパイプ役
として活動できるよう努めてまいります。よ
ろしくお願いいたします。

小学校会長会

山本 紳

今年度、小学校会長会
を務めさせていただきこ
ととなりました長江小学
校育友会会長の山本 紳
です。何卒よろしくお願
いします。



PTA活動に対する考え方は様々だと思
いますが、第一義は「子ども達の為」です。こ
の考えを軸に小学校会長会を運営してゆきま
す。

今年度は昨年度まで行われてきた活動の意
義をまず考え、それと同時に、効果を検証し
てみます。その結果に鑑み現状に沿ったこの
会の在り方を模索したいと思います。
継続的な活動としては「尾道を誇りに思う
子ども達」を育てるため、全学校と連携し意

見交換と情報の共有化を図ります。
限られた時間の中で微力ながら尽力します
ので、皆様のご協力をよろしく願います。

筆頭副会長

一色伸良

昨年度に引き続き、本
年度筆頭副会長を務めさ
せていただきます。因島
南中学校PTA会長の一
色伸良です。



一年間、半田会長を補佐し、親睦ソフトバ
レーボール大会、尾道市教育フォーラム等の
事業並びに各会議が、スムーズに運営出来ま
すよう調整に努めて参りますので、皆様のご
協力をよろしく願います。

日本の人口は減少の一途をたどっています。
少子高齢化の流れの中、成長社会から成熟社
会に変わり、皆一緒に頑張ればよかった時代
から、様々な変化に一人一人が判断し臨機応
変に対応しなければならぬ時代が変わって
きています。

そこで、子ども達が自ら未来を切り開き、
たくましく生きていけますように、我々大人
が、率先して積極的にお互いを理解し協力し
あい、時代の変化に対応してまいります。よう
々な行事を通して、お互いに助け合ひ、笑
顔で楽しく、絆を深めていければと思います。
色んな地域の思いが重なり、和をもって尾
道市PTA連合会が発展していきまます事を願
っています。

総務部担当 副会長

山元剛介

本年度、総務部担当
の副会長をさせて頂きま
す栗原小学校育友会会長
の山元剛介です。



総務部会としての役割
は色々ありますが会員の皆様に参加される
市P連の事業に対して事務的な事を中心とし
てサポートさせていただく事が主な役割の一
つであると考えます。そのため各部会の方
がそれぞれの担当の事業を行う上で十分にそ
の実力を発揮できますように微力ながら協力

してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願
い致します。

そして、各単位PTA・育友会様は子ども達
の為に様々な活動をされ活躍されている事
と思います。それに連合会としてどういつた
かわりが出るのか、どういつた事が一緒に
出来るのかを再度検討する一年間に出来れ
ばと考えています。現在はスポーツ・研修・
講演等を通じて保護者間の懇親を深め連携を
図ることや意識の向上を図ることを主な活動
としていきます。これらの事は全て尾道で育つ
子ども達のために行っている事で今後も子
ども達がそれぞれの地域において様々な事を体
験し、学ぶ事が出来るよう学校等を支援し
将来子ども達がこの尾道で、またそれぞれの地
域で育ち学んだということに誇りを持てるよ
うな活動をして行きたいと思っております。その
活動のサポートをして行きたいと思っていま
す。PTA・育友会活動は当たり前前の事では
ありません。この限られた時間の限られ
た時しか出来ません。この限られた時間の中
で親として地域の者としてちよつとだけ無理
をして頑張っていきたいと思っております。総
務部会として会員の皆様にはいろいろとご無
理なお願いをする事もあると思っておりますが尾道
の子ども達の為に又、皆様の地域の子とも達
の為に積極的にご協力いただければありがた
いと思っております。何卒よろしくお願
い致します。

安全部担当 副会長

大瀬秀幸

今年度、安全担当副会
長になりました向東中学
校ブロック向東中学校の
大瀬です。会長の精神的
な重さが少しでも軽く楽
になるように努力します。役員の皆様と力を
合わせて会長がやりやすいように、また楽し
く仲良くすることを目標に、子ども達のため
に頑張ります。今年一年、どうぞ宜しくお願
い致します。



7月に2年続いて電子メディア、携帯電話
に関する講演会がありました。今年度は未定
ですが、パソコンや携帯電話は今日では必要

で手軽な道具となりました。子ども達も使っています。使用の方によっては安心安全を脅かすものとなります。正しい使い方や危険性を理解して持たす時期や、家庭でのルール作りなども考えていかなければならないと思います。皆で勉強する機会があれば、協力をよろしく願います。

10月には交通安全大会があります。毎年各地区で登下校時での見守り、夜店や祭りのパトロール、春・夏休みでの夜間パトロールをされていると思います。いつもありがとうございます。私たちは子ども達がいざという時に安心してかけこめる「110番の家」が少しでも増えるように努力し、お願いさせていただきます。

お忙しいとは存じますが、ご協力、参加して頂きますよう宜しくお願い致します。

体育部担当 副会長 柴川 輝明



本年度、体育部会担当の副会長をさせて頂きま
す、御調中央小学校PT
A会長の柴川輝明です。
一年間どうぞ宜しくお願い
致します。

9月9日(日)にびんご運動公園で開催する「市P連親睦ソフトバレーボール大会」の事務局を御調中学校ブロックが任せられており、現在役員の皆さんと大会組織、運営部会と、大会の土台となる部分について準備を始めたところです。

担当校としてどんな大会にしたいか。そこから取り組み、大会のコンセプトとして「つながれ つながれ みんなの笑顔」をテーマとして決めました。

御調中学校ブロック3校の保護者の皆様には、大会に至るまでの過程において、親睦を深め、一致協力して笑顔で大会に臨みたいと思います。参加して下さる各学校の保護者の皆様には、この大会の目的「尾道市PTA連合会会員相互の交流と親睦を図る」、この事を念頭におかれ、親睦というルールのもとお互いに競い合うことで尊重し合い、思いやりの中

で、最後は笑顔で「来年また会いましょう」と、そんな声を掛け合って終われる大会にしたいと思っています。

なにぶん初めての大会なのでスタッフ全員いろいろと問題にぶつかりながら活動しております。大会当日、参加される皆様には何かとご迷惑をかけることが多々あるかとは思いますが、「笑顔で皆様を迎え」「笑顔で皆様を送る」ことができるよう頑張りますので、大会のスムーズな運営に、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

文教部担当 副会長 向井 英人



今年度、文教部を担当させていただきます。美木・原田中学校ブロック代表、木ノ庄西小学校会長の向井英人と申します。一年間宜しくお願い致します。

文教部といたしまして教育フォーラムを成功させるべく、ブロック一丸となって取り組んでおります。子どものブロックは小人数ですが、ブロック間の保護者さらには地域とのつながりはどこにも負けない気持ちが強くなります。その絆(繋がり)をフォーラムという場できかに表現できるか、皆で協議していきます。決して派手な表現はできませんが、暖かい気持ちになって頂けるようにおもてなしをさせていただきます。

若輩者ではありますが、皆様のご指導を宜しくお願い致します。

広報部担当 副会長 山本 淳



今年度、副会長(広報部)を任せております。吉和小学校校友会会長の山本淳と申します。

紙面の上からではあります。一年間どうぞよろしくお願い致します。さて、市P連という組織がどんな組織なのか、会員の皆さまには、分かりにくいのではないかと考えています。それを少しでも解消するためには、広報紙

を発刊する中で、市P連会長のメッセージを伝えたり、できるだけ分かりやすく、組織の情報や年間の活動報告を行なわなければならぬと考えています。

また、私自身もこういった活動をする中で、地元「吉和」に活かせることが何か一つでも見つければと考えています。吉和小学校でもお伝えしているのですが、私はPTA、育友会の活動や組織を活性化、活発化させるためには、会員の皆さまからの積極的な意見が、一番大切だと考えています。子ども達の学校生活の支えになること、建設的なこと、複数の子ども達のためになることであれば、何でもいいと思います。

広報部へも、ご意見を届けて下さい。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

最後に：吉和小学校は、国立公園鳴滝山と吉和漁港をもつ自然豊かな、人情味あふれる地域です。鳴滝山の山頂からは、向島をはじめ、瀬戸内海が一望できる素晴らしい景色が眺められます。是非、一度足を運んでみて下さい。

おやし部会担当 副会長 土屋 研



今年度、おやし部会担当副会長をさせて頂きま
す。土屋です。

おやし部会を担当させて頂いたのは、今年で4年目です。在籍単Pは栗原中学校ブロックの栗原小学校で副会長をさせて頂いています。おやし部会の主な活動は、「みなと祭の食品販売」と「PTA会長・母代と教頭先生・総括事務局長・事務局長とのなかつし会」です。

特に、「PTA会長・母代と教頭先生・総括事務局長・事務局長とのなかつし会」は私が担当させて頂いて4年目なので、マンネリ化しないように、実施する意義も含めて全てを見直しながら、皆さんに喜んでもらえる会にしてゆけたらと思っております。おやし部会の皆さんはもとより、母の会さくらの皆さんにも無理を言うと思いますが、なにとぞ趣旨をご理解の上、ご協力のほどを頂きますようお願い致します。今年度は12月8日(土)

を予定しております。クリスマスも近いのでパーティー気分では是非参加して下さい。

また、今年度は尾道市PTA連合会の会長が替わり、新しい体制での出発ですので、今までは色々な面で市P連会長に依存していましたが、新会長をより立てながら出来るだけ迷惑を掛けないように努力をして行きたいと思っております。

今年度、おのみち母の会さくらの代表をさせて頂
いたきます。久保中ブ
ロック久保小学校の木曾
奈美です。



母親代表って何? と思う方も多いのではないのでしょうか。まだまだ母親代表の存在って保護者の中で浸透してないのではないかと
思います。母親は子どもの身近にいて子ども
のわずかな変化にもすぐに気付いてやれる存在だと自負しています。しかし、だからこそ
いろいろと考えてしまいます。悩みます。でも一人ではなかなか解決しないことが多く
あります。一昨年から母親代表研修会で母親
代表の成り立ちや役割を勉強させて頂いて
思うのは、母親代表というのは、母親達の
情報の発信源であり、みんなの想いの吸い上
げ役が母親代表なのではないかと思ひます。
今、子ども達を取り巻く環境は情報化社会の
発達で利便性向上の半面、多くの危険にもさら
され、その中で知らず知らずのうちに相互
いが傷つけ合うことも少なくありません。子
ども達に他者を思いやり、自分を大切に、
今の世の中を「生きぬく力」を付けて欲しい
と思います。

今年度も三回の母親代表研修会を予定して
います。その研修会や「おのみち母の会さく
ら」の活動を通じて、お母さん達の経験や知
恵の共有化をすることで、子育て力のアップ
につなげていければよいなと思ひています。
難しいことはわかりません。特別なこともで
きません。ただ、お母さん同志のネットワー
クの繋ぎ目になれるように頑張りたいと思ひ
ます。こちらから一年間よろしくお祈りします。



半田新会長から、「笑顔で未来を」と題して、子ども達の笑顔のために、未来の笑顔のために、まず、私たちがPTA活動を通じて笑顔でいられるよう頑張っていきたいと思います。と挨拶がされ、会場から大きな拍手が起りました。

総会終了後は、市P連主催の研修会として、前因島南中学校校長の岡本和信先生から「自己エンジン搭載の若者を育てよう」と題した講話がありました。

金口県議会議員、吉井県議会議員も同席のもと、また新しい発見のあった意義ある講演会でした。

その他、PTA功労者表彰規定に基づき、加藤前会長、岡田前母親代表をはじめ多くの方々が栄誉ある賞を贈られました。

旧役員の皆さま、大変お疲れ様でした。



定例総会

5月19日に尾道国際ホテルで、平成24年度定例総会が開催されました。出席者は165名、委任状10名の提出により、会議が成立していることの報告のあと、議事に移りました。

議事では、平成23年度会務報告、決算報告がされ、監査委員からの監査報告後、全会一致で承認されました。

その後、市P連新会長に半田真悟さん、その他役員、監査委員の提案がされ、これらも承認されました。

半田市P連会長の所信表明に引き続き、平成24年度事業計画、予算案等が審議され、審議事項は全て承認されました。

東日本大震災支援活動

「心のきずな 61 キャンペーン」

書き損じハガキ・未使用ハガキで
東北の仲間たちに元気を届けよう!

目標 3万枚 (会員一人あたり3枚)

東日本大震災により震災孤児・遺児となった子どもたちのために、支援金活動を行います。その一環として、尾道市PTA連合会では書き損じハガキ・未使用ハガキの回収を行います。皆さまにお持ちいただいたハガキは現金化した後、広島県PTA連合会を経由して日本PTA全国協議会に送られた後、就学支援金として届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

